

たきいNOW



関西医科大学附属滝井病院

たきいNOWとは？

たきいNOWは、地域の皆様に滝井病院の「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

コンテンツ

- ☆ ごあいさつ 副病院長 關 壽人
- ☆ 下肢静脈瘤に対するレーザー治療について
- ☆ 大学病院・形成外科でおこなうピーリング治療
- ☆ 『シリーズ』 ～病院スタッフの紹介～



脂肪肝について



副病院長 關 壽人

“たきいNow”の創刊号にて、岩坂壽二病院長から広報させていただきました。企業・団体向け出張講演会（関西医科大学附属滝井病院の医師・看護師が直接出向いて、健康・病気に関わるプログラムにて講演会を実施する）がよいスタートいたしました。

第1回目は、2011年9月22日に日本ペイント株式会社 寝屋川事業所様に小生がおじゃまして、テーマを“軽視してはいけない脂肪肝、肝がんになるかもしれない”で講演をさせていただきました。

人間ドックあるいは事業所単位の健康診断にて、異常とされる項目のトップ3は第1位：肝機能異常（GOT(AST)、GPT(ALT)の上昇)、第2位は高コレステロール血症、第3位は肥満です。第4位は尿検査異常、第5位は高血圧と続きます。第1位の肝機能異常の多くは脂肪肝によるものです。脂肪肝では肝臓に中性脂肪が蓄積され、この中性脂肪により肝臓の細胞が日々破壊される状況にあります。

最近のメディア報道にてメタボリックシンドローム（代謝症候群、単にメタボとも呼ばれます。）は一般の方にも周知されるようになりましたが、脂肪肝もメタボの一員です。実は、近年この脂肪肝を放置しておく、肝炎から、肝硬変・肝がんとなる場合があることが報告され、脂肪肝が新たに注目されて来ています。

脂肪肝の原因は食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足でまさにメタボですが、放置しておく、肝がんが発生し、知らず知らずが肝がんが大きくなり、手遅れになることがあります。初期の肝臓病の多くは症状がまったくなく、症状のないことが、肝がん発見の遅れとなっています。したがって血液検査が大変重要です。検査で肝臓に異常があると指摘されれば、必ず地域の医療施設を受診してください。また関西医科大学附属滝井病院には肝臓病センターが開設されており、肝臓専門医が肝臓病に関する様々な相談に対応いたしております。

詳しくは、関西医科大学附属滝井病院のホームページから肝臓病センターをご覧ください。

ケミカルピーリングとは



形成外科 助教
覚道 奈津子

こんなことで悩んでいませんか？

にきび、にきび痕、脂っぼい肌、小じわ
しみ、くすみ、毛穴の開き

ケミカルピーリングとは、患部に薬剤を塗布することにより、古い角質をとりのぞき、お肌の改善をするものです。形成外科では、フルーツ酸(AHA)を用いたケミカルピーリングをおこなっています。

ケミカルピーリングは、フルーツ酸の作用によって、アクネ菌や、毛穴に詰まっているよごれ、黒ずみを溶かすため、今できているにきびを治したり、皮膚の小さな瘡痕となってしまうにきびの痕を平らにしたりします。

また、古い角質を取り除くことで、しみの原因となるメラニンや小じわを取り去り、新しい皮膚の再生を促します。肌の新陳代謝を高め、肌のきめを整え、くすみのない透明感のある肌をつくるのに有効です。

ケミカルピーリングは、2~4週間に1回の割合でおこなうと効果的です。

個人差やお肌の状態によって変わりますが、3~4回目から効果が現れてきます。

スキンケア外来でのケミカルピーリング・しみ治療は自費診療(保険診療適応外)です。

●ケミカルピーリングのお得なバックプラン●

スキンケア外来では、新しくピーリングのお得なバックプランを設定いたしました。
今まで7350円/1回のピーリングが、期間限定のバックプランにより特典付きで
1回あたり6000円に!

☆Aプラン

スキンケア外来での医師によるクリニカルスキンチェック(肌診断)と
カウンセリング 1回
ケミカルピーリング 3回

管理栄養士による健康で美しい肌をつくる食事の紹介 1回(栄養管理部)
専門トレーナーによる健康体力作りの方法とウォーキング指導 1回(健康科学センター)
計 2万8350円を特別価格により**1万8000円**



☆Bプラン

各1回 計 1万3650円を特別価格により**1万2000円**もあります。
詳しくは下記までご相談ください。

関西医科大学附属滝井病院 形成外科・スキンケア外来

<施術日> 水曜午後 予約制

<予約・問い合わせ先>

関西医科大学附属滝井病院・形成外科受付 (06) 6993-9582(直通)

<担当医師> 覚道奈津子

「シリーズ」～病院スタッフの紹介～

【感染管理認定看護師の役割】

病院には抵抗力が落ちて感染症を起こしやすい患者さんと、胃腸炎などの感染症や抗生剤の効かない細菌(薬剤耐性菌)が鼻などに住み着いている患者さんが混在しています。院内感染が起こりやすい状況の中で、私の主な役割は、患者さんや病院で働く人が院内感染する危険性を減らすことです。そのためマニュアルを作ったり、勉強会をしたり、感染対策が実践されているか見回りし、問題があれば現場で指導しています。現在では、ICT(感染制御チーム)の医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師が一丸となり、院内感染の予防と早期発見、早期対応に取り組んでいます。



感染管理認定看護師 感染対策室
竹之内 春美 副部長

【インフルエンザについて】

秋が深まるとインフルエンザの流行が始まります。インフルエンザに感染した人が咳やくしゃみをする、ウイルスを含む大量のしぶき(飛沫)が1~2m飛び散ります。ウイルスを含む飛沫を吸い込んだり、飛沫のついたドアのふたすり・つり革などに触った手で、目・鼻・口の粘膜に触れるとインフルエンザに感染してしまいます。



【インフルエンザ予防対策を実践しましょう】

1. 手洗い・うがい
*手や口のウイルスや細菌を除去します。
2. マスク着用
*感染者: 飛沫の飛散を押さえ、周りの人への感染を防ぎます。
*未感染者: インフルエンザ流行期に人ごみで着用することで、飛散する飛沫や乾燥からのどや鼻を保護します。
3. インフルエンザワクチンの接種
*重症化を防ぐ効果があります。
*効果が現れるまでには約2週間かかり、効果は約5カ月間持続します。
*12月上旬までに接種することが勧められています。



飛沫の数(個)	
会話	200
咳	10万
くしゃみ	100万



※インフルエンザに限らず、熱や咳が出る時はマスクを着用して受診しましょう

アクセスマップ



- ・京阪電車「海井駅」徒歩3分
- ・地下鉄谷町線・今里線「太子橋今市駅」(2番出口)徒歩6分



関西医科大学附属海井病院

〒570-8507 大阪府守口市文庫町10番15号

TEL 06-6992-1001 (代)

HP <http://www.kmu.ac.jp/takil>